

社会福祉法人 両崖福社会 事業報告

特別養護老人ホーム 清明苑
健康デイサービスセンター けやき
高齢者複合施設 みのりの里・田島
特別養護老人ホーム みどりの丘・大月

【 平成26年度 事業・行事報告 】

— 2014年度 —

RYOUGAI FUKUSHIKAI
社会福祉法人 両崖福社会

1. 指定介護老人福祉施設

利用者の希望を尊重し、その人らしく、質の高い満足した生活が送れるよう、毎日笑顔で生活できるように職員の和、部門間の連携を強化して支援してまいりました。根拠に基づきケアを提供する「科学的介護」（認知症ケア、看取り、おむつゼロの取り組み等）に法人全体で取り組み少しずつではありますが成果も出てきました。また安全で安心できる生活環境、心地よい環境を提供すると共に、個別ケアの実践、また外出の機会を多く捉えグループに分けての外出や小旅行も実施することも出来ました。看取りケアにおいても、研修会や勉強会を重ね、家庭と同じように施設で最期まで看取りをすることが出来ました。

また、総合的なネットワークサポートにて、健康管理や栄養管理さらには家族支援管理を円滑に行い、迅速かつ的確なサービスが提供できるようにチームケアを推進してまいりました。

2. 地域密着型介護老人福祉施設

一層深まる社会的ニーズとして住み慣れた地域での生活が継続できるよう地域密着型を基本とし、自らの未来を生涯を安心して託せる施設として個別的なかかわりを大切に、プライバシーの確保、個別ケアの実践等豊かな生活環境の中で地域の行事への参加や各種団体との交流・外出や小旅行等、その人らしい質の高い生活が送れるようサービスの提供に努めてまいりました。看取りケアにおいても、研修会や勉強会を重ね、家庭と同じように施設で最期まで看取りをすることが出来ました。

また、短期入所生活介護を併設し、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活及びプライベートニーズを支援し安心して笑顔あふれる生活の提供に努めてまいりました。利用者本人だけでなく家族介護の負担緩和として住み慣れた地域の中での生活ができるよう支援してまいりました。

3. 指定居宅介護支援事業

地域における高齢者が安心・安定した状態でその能力に応じた自立した生活を送ることができるよう地域福祉の拠点として本人及びその家族にとって、できる限りの多層的・潜在的なニーズを迅速かつ的確に掌握し、信用と信頼ある事業者として取り組んでまいりました。利用者本位の希望を尊重した居宅サービスの計画の作成や迅速で円滑なサービスが提供できるよう各関係機関との綿密な連携に努めサービスコーディネーターとしての役割を責務を持って対処してまいりました。

4. 指定居宅サービス事業

利用者が可能な限り、その居宅においての生活をサポートし、利用者及び家族が安心して生活できるよう支援してまいりました。家族介護の負担緩和としてもそのニーズにできる限り対処し、住み慣れた地域での生活ができ、利用者の立場にたった思いやりのあるケアを職員の和を持って努めてまいりました。

5. 地域密着型サービス事業

利用者が住み慣れた地域での生活を継続し、利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営む事ができ、かつ家族介護の負担緩和が図れるよう支援してまいりました。また個々の症状にあわせた個別ケアの実践、生きる力への支援にて住み慣れた地域での生活ができる喜びを尊重した対応に努めてまいりました。

6. その他の事業

地域における様々な社会資源であるネットワークシステムを使い、高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう公平・中立な機関として援助を行ってまいりました。

また配食サービスなど介護保険内では充足しきれない生活支援サポート等生活困窮者や要介護者または家族への総合的な地域福祉の推進の寄与に努め、緊急通報システム、シルバーハウジングの生活援助員の派遣などの委託事業においても、可能な限りその居宅において安心して自立した日常生活が営むことができるよう迅速かつ的確な対応に努めてまいりました。

7. 地域福祉事業

地域の行事に参加する事や地域住民との人間的連帯感を深めることでノーマライゼーションを図り、行事等により一層の施設の開放と活用を図ってまいりました。

・主な地域交流の行事

行 事	入所者	家族	地域・ボランティア
両崖福祉会 家族会総会	44名	家族35名	
夏 祭 り	44名	家族 54名	朝倉 EG 八木節クラブ他14団体 109名 地域住民約140名
敬老祝賀会	44名	家族 30名	本城会 6名、山辺オカリナの会 8名
クリスマス会	44名		
こばと幼稚園交流会	44名		足利こばと幼稚園児約60名
常念寺保育園交流会	44名		常念寺保育園児27名
合 計	264名	家族119名	18団体210名／地域住民約140名

8. 人材育成事業

社会福祉士、介護福祉士、訪問介護員、管理栄養士等の養成実習を受け入れるにあたって、マンパワーの育成と指導能力の向上にてのサービスの質を高める努力をしてまいりました。

・実習受け入れ状況

学校名	資格	回数	延人数	延日数
佐野短期大学	介護福祉士	1	1	30
足利介護福祉専門学校	介護福祉士	3	4	88
群馬医療福祉大学短期大学	介護福祉士	1	2	60
清風高校		1	6	18
合 計		6	13	196

指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム清明苑統計資料

平成27年 3月31日現在

1. 入所者年齢状況(定員44床)

年 齢	男	女	計
100歳以上	0	1	1
90～99歳	0	10	10
80～89歳	4	11	15
70～79歳	6	10	16
60～69歳	0	0	0
50～59歳	0	2	2
合 計	10	34	44

2. 平均年齢

全 体	男	女
82.2歳	78.5歳	83.2歳

3. 最低、最高年齢

	男	女
最低年齢	71歳	57歳
最高年齢	89歳	102歳

4. 在所期間状況

15年以上	1
10年以上～15年未満	0
5年以上～10年未満	10
3年以上～5年未満	4
1年以上～3年未満	16
1年未満	13
合 計	44

5. 要介護度状況

自 立	人 数
要 支 援	0
要介護 1	1
要介護 2	5
要介護 3	4
要介護 4	13
要介護 5	21
合 計	44
平均要介護度	4.1

6. ADL（日常生活動作）状況

	自 立	一部介助	全介助	合 計
食 事	16	12	16	44
排 泄	4	18	22	44
着 脱	4	18	22	44
入 浴	1	17	26	44
歩 行	3	16	25	44
認知症数	41			

7. 排泄の状況（おむつ使用）

常 時	20
夜間のみ	14
な し	10
合 計	44

8. 入浴の状況

一般浴	4
リフト浴	20
ベット浴	20
合 計	44

9. 死亡理由

心不全・心筋梗塞	0
脳梗塞・脳内出血	2
肺 炎	1
老 衰	11
ガ ン	1
腎 不 全	0
そ の 他	1
合 計	16

実施状況	<p>1. 入居者の平均要介護度が4.1と高く、要介護4.5の認定を受けている方が8割を占めている。</p> <p>2. 認知症の入所者が9割を超えており、専門的治療を受けている入所者も多い。</p> <p>3. 「オムツ外し」の取り組みから日常生活動作の状況「排泄」において「全介助」の人数が減り、「一部介助」の人数が増加している。</p>
------	---

平成26年度 短期入所生活介護事業報告

平成27年 3月31日現在

1. 月別利用実施状況（定員26床）

月	人 数				日 数				1日平均 利用者数
	介護 保険	介護 予防	身体 障害	合計	介護 保険	介護 予防	身体 障害	合計	
4	55	0	0	55	734	0	0	734	24.5
5	55	1	0	56	814	2	0	816	26.3
6	54	0	0	54	814	0	0	814	27.1
7	53	0	0	53	803	0	0	803	25.9
8	55	0	0	55	843	0	0	843	27.2
9	51	0	0	51	784	0	0	784	26.1
10	58	0	0	58	758	0	0	758	24.5
11	57	1	0	58	823	4	0	827	27.6
12	59	0	0	59	818	0	0	818	26.4
1	53	0	0	53	733	0	0	733	23.6
2	47	0	0	47	749	0	0	749	25.8
3	53	0	0	53	766	0	0	766	24.7
合計	650	2	0	652	9,439	6	0	9,445	25.9

*人数内訳の介護保険とは、要介護1～5の方
 介護予防とは、要支援1～2の方
 身体障害とは、身体障害者福祉法の対象者

2. 要介護度状況

身体 障害	要支 援 1	要支 援 2	要介 護 1	要介 護 2	要介 護 3	要介 護 4	要介 護 5	合 計
0	0	0	4	5	17	19	8	53

実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平均要介護度3.4。入所と比較すると低めの数値となっているが、軽度から重度の方まで幅広く状態に合わせた個別的なケアが求められている。 2. 送迎の時間指定が多く、多方面に渡る。また出入りが非常に多く入浴や荷物のチェック等かなりの時間を要する。個室希望や部屋の指定もあり配置が難しい。 3. 昼夜逆転の利用者が増えており、転倒等、夜間の事故のリスクが高くなっている。 4. ロングショート利用者、定期利用者が減少傾向にあり、利用率の安定を図ることが困難となってきた。 5. 居室の温度や明るさなどを指定される利用者、家族が増えている。
------	---

平成26年度 通所介護事業報告 (クワハウス)

平成27年 3月31日現在

1. 月別利用実施状況 (定員44名)

月	開所日数	延利用者数	一日平均利用者数
4	30	1,023	34.1
5	31	1,045	34.8
6	30	1,085	36.2
7	31	1,097	35.4
8	31	1,065	34.4
9	30	1,029	34.3
10	31	1,112	35.9
11	30	1,013	33.8
12	30	1,007	33.6
1	28	924	33.0
2	28	923	33.0
3	31	1,044	33.7
合計	361	12,367	34.3

2. 登録者人数

性別	男	女	合計
人数	38	101	139

3. 要介護度状況

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
0	6	33	13	32	18	26	10	138

※身障 1名

実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 新しい取り組みとして足温浴・フェイспック・ハンドケアを実施し利用者からの人気も得ることができた。 重度者の入院や死亡など短期間で利用終了するケースも多く、要介護重度者の利用者確保が難しくなっている。 往診を行うDrや訪問看護師との連携をとりながら、在宅ターミナルケアにかかわる機会が増えた。 送迎時間の指定が通常業務に対して負担となっている。 重度利用者のケアに対して、ベット数や浴槽の問題などハード面での限界が見え始めている。
------	---

平成26年度 通所介護事業報告（けやき）

平成27年 3月31日現在

1. 月別利用実施状況（定員45名）

月	開所日数	延利用者数	一日平均利用者数
4	26	1,024	39.4
5	27	1,040	38.5
6	25	987	39.5
7	27	1,031	38.2
8	26	967	37.2
9	26	1,006	38.7
10	27	1,072	39.7
11	25	975	39.0
12	26	972	36.8
1	24	869	36.2
2	24	906	37.8
3	26	1,008	38.8
合計	309	11,857	38.4

2. 登録者人数

性別	男	女	合計
人数	54	92	146

3. 要介護度状況

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
2	29	45	26	25	13	2	1	143

※ 身 障 1名

※ 自費利用 0名

※ 2次予防 2名

実施状況	<p>1. 地域包括ケアシステムに移行するため「利用者様のできる部分」「利用者様の自己選択、自己決定」の取り組みを在宅での生活に活かしていけるように努めていく。</p> <p>2. 清明苑以外の18の事業所の居宅から45名の利用者を紹介していただき、外部からの信頼も築けている。</p> <p>3. 平成26年4月からは「デュアルタスク」を開始し、転倒しない体づくりや認知症の予防にも努めている。</p>
------	--

平成26年度 認知症対応型通所介護事業報告（かがやき）

平成27年 3月31日現在

1. 月別利用実施状況（定員12名）

月	開所日数	延利用者数	一日平均利用者数
4	26	278	10.6
5	27	273	10.1
6	25	266	10.6
7	27	286	10.6
8	26	264	10.2
9	26	291	11.2
10	27	291	10.7
11	25	247	9.9
12	26	259	9.9
1	24	224	9.3
2	24	211	8.8
3	26	254	9.8
合計	309	3,144	10.2

2. 登録者人数

性別	男	女	合計
人数	6	20	26

3. 要介護度状況

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
	0	0	10	10	2	3	1	26

実施状況	<p>1. 定員12名の中、平均10.2名（稼働率85%）の利用者にサービスを提供している。上半期は利用追加者や新規利用者が多く利用率が安定していたが、下半期は体調を崩す方が目立ち、入院やショート利用、当日のキャンセル等で利用率の低下が見られた。</p> <p>2. 花見や紅葉狩り、茶話会や買い物ツアー、遠足等を通して積極的に外出の機会を多く持つ事ができた。認知症状にも目を向け、見当識障害や記憶障害に働きかける支援も継続的に実施する事ができた。</p> <p>3. カンファレンスを適宜実施し、対応を職員間で共有する事ができ、個別ケアの充実に努める事ができた。</p>
------	--

平成26年度 訪問介護事業報告

平成27年 3月31日現在

1. 訪問介護員派遣状況

月	派遣回数	実人員	生活援助	身体介護	複 合	介護予防	平均回数
4	747	63	84	233	307	123	24.9
5	852	64	153	218	361	120	27.5
6	889	66	140	274	363	113	29.6
7	897	65	139	257	378	124	28.9
8	858	66	131	275	327	125	27.7
9	871	69	131	279	328	133	29.0
10	888	66	134	300	321	133	28.6
11	858	69	144	352	317	112	28.6
12	861	65	126	364	313	116	27.8
1	812	59	112	352	302	102	26.1
2	768	57	97	297	314	110	27.4
3	827	59	157	292	318	111	26.7
合計	10,128	768	1,548	3,493	3,949	1,422	27.7

2. 要介護度状況 (平成27年度3月度)

自 立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
	11	24	19	29	12	15	6	116

3. 利用者の状況 (平成27年度3月度)

独居世帯	高齢者世帯	家族と同居世帯	合 計
47	24	45	116

実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護予防の利用者の施設利用・入所が多く訪問終了することが多い。 2. 重度利用者は家族の身体的負担があり、在宅より施設サービスのニーズが強い。 3. 体調悪化により集中的に訪問が入り、回復するとすべての訪問が中止となり安定しない。 4. 退院後の新規利用依頼は多いが、落ち着くと短期入所・通所介護利用となり訪問は減少する。 5. 老々介護が増加している。共に見守りや援助が必要なことは増加している。身体、生活援助のみでは生活が成り立たなく複合援助1件の訪問に長時間滞在することが必要で徐々に増加傾向である。
------	--

平成26年度 訪問入浴介護事業報告

平成27年 3月31日現在

1. 月別利用実施状況

月	運営実日数	延利用者数	一日平均利用者数
4	5	1	1
5	4	1	1
6	4	1	1
7	1	1	1
8	0	0	
9	0	0	
10	1	1	1
11	2	1	1
12	0	0	
1	0	0	
2	0	0	
3	0	0	
合計	17	6	6

2. 登録者数

性別	男	女	合計
人数	2	0	2

3. 要介護度状況

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
		1			1		2

実施状況	<p>1. 利用曜日が限定されるサービスのため、利用者確保が難しい。</p> <p>2. 平成26年10月に利用確保し、サービス提供再開している。隔週の入浴支援にて状態が少しずつ回復し、通所介護利用へと繋がるケースもあった。</p> <p>3. 在宅支援の重要なサービスとして、今後も利用者確保につとめていきます。</p>
------	---

平成26年度 居宅介護支援事業報告

平成27年 3月31日現在

1. 月別給付管理状況

月	介護給付管理	予防給付管理	合計
4	246	26	272
5	244	25	269
6	244	27	271
7	245	27	272
8	245	27	272
9	240	27	267
10	230	27	257
11	230	31	261
12	223	32	255
1	221	32	253
2	227	38	265
3	228	42	270
合計	2,823	361	3,184
平均	235.3	30.1	265.3

再請求、月遅れ請求者は含まない。

2. 性別内訳数 (平成27年度3月度)

性別	男	女	合計
人数	94	175	269

3. 要介護度状況(平成27年度3月度)

要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	合計
1	2	1	2	3	4	5	
8	33	43	64	54	48	19	269

実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 常勤換算にて介護支援専門員を6.5人配置している状況、特定事業所加算の事業所の為、主任介護支援専門員2名を配置。 2. 主に重度者の利用者を担当しているが近年軽度者も増加傾向にある。 3. 地域の在宅生活を支えるため地域包括センター、医療機関との連携を図り地域に信頼される事業所の運営に努めている。 4. 近年の傾向としては利用者が、認知症の悪化また、老々介護、認々介護で高齢者住宅に入居されるケースが目立っている。
------	--

平成26年度 居宅介護支援けやき事業報告

平成27年 3月31日現在

1. 月別給付管理状況

月	介護給付管理	予防給付管理	合計
4	48	35	83
5	48	38	86
6	51	40	91
7	54	42	96
8	53	39	92
9	54	38	92
10	52	39	91
11	50	41	91
12	53	42	95
1	51	40	91
2	52	41	93
3	53	42	95
合計	619	477	1,096
平均	51.6	39.8	91.3

2. 性別内訳数 (平成27年度3月度)

性別	男	女	合計
人数	19	76	95

3. 要介護度状況 (平成27年度3月度)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
15	27	19	21	8	3	2	95

実施状況	<p>1. 居宅介護支援清明苑の特定事業所加算の安定を図るため、常勤換算にて介護支援専門員を1.5人配置している状況。</p> <p>2. 軽度の要介護の利用者と要支援の利用者を担当し、給付管理件数を安定して保持している。</p> <p>3. 在宅生活を支える医療機関や地域包括支援センター等関連機関と連携体制を強化し、地域で信頼される事業者所の運営に努めている。</p>
------	--

平成26年度 高齢者複合施設 みのりの里・田島

(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

平成27年 3月31日現在

1. 入所者年齢別状況

年齢	男	女	合計
90～99歳		5	5
80～89歳		3	3
70～79歳	1	1	2
60～69歳			
合計	1	9	10

	男	女
平均年齢	75	88.3
最高年齢	75	96
最低年齢		73
全体平均年齢	87	

2. 要介護度別状況

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男				1		1
女		2	1	2	4	9
合計		2	1	3	4	10
平均	3.9					

3. 入退所状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	入所													
	退所													
女	入所	1							1			1		3
	退所	1							1			1		3

4. 入所理由

独居困難	心身悪化	介護者疾病	その他
1	2		

5. 退所理由

死亡	在宅復帰	契約解除	その他
3			

6. ADL (日常生活動作) 状況

食事			排泄			入浴			移動			認知		
自立	一部介助	全部介助	自・I	Ⅱ・Ⅲ	Ⅳ・M									
4	2	4		3	7		2	8	1	4	5	2	4	4

実施状況	1. 3名の退所があったのみで、いずれもターミナルケアにて対応。 2. 要介護度が徐々に上がり各介助においても要介護が増えている。 (日常生活継続支援加算の体制が継続。要介護4～5が70%以上) 3. プライベートニーズ(外出など)や本人の暮らし方を尊重し、個々の24時間のデータをもとに個別対応を心がけている。
------	---

平成26年度 高齢者複合施設 みのりの里・田島

(短期入所生活介護)

平成27年 3月31日現在

1. 月別利用実施状況 (定員10名)

月	人 数				日 数				1日平均 利用者数
	介護 給付	予防 給付	自立	合計	介護 給付	予防 給付	自立	合計	
4	26	1		27	256	5		261	8.9
5	24	2		26	295	11		306	10.1
6	23	2		25	276	17		293	9.8
7	23	2		25	285	7		292	9.4
8	22	3		25	277	20		277	9.6
9	21	2		23	290	8		298	9.9
10	20	2		22	296	8		304	9.8
11	25	2	1	28	267	8	2	277	9.3
12	24	2		26	281	8		289	9.3
1	23	2		25	263	8		271	8.8
2	24			24	249			249	8.9
3	25	1		26	294	3		297	9.8
合計	280	21	1	302	3,329	103	2	3,434	9.5

2. 要介護度状況 (平成27年3月度)

項目	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数	1		3	9	8	2	3	26
全体平均(要支援を除く)	2.7							

実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平均稼働率が95%と安定した運営ができた。 2. 1月と2月にインフルエンザが流行し、利用を控える状況になり稼働率が下がった。 3. 長期滞在の利用者が多く、利用者のお大半を占めている。新規利用の希望もあるが、利用者のほとんどがリピーターにて新規の利用者を含め予約調整が難しい状況にある。 4. 介護度の中度から重度の利用者が多くなっているが、個々の習慣に合わせた個別ケアを中心に行っている。
------	--

平成26年度 みのりの里・田島 運営状況

(地域密着型小規模多機能型居宅介護)

平成27年 3月31日現在

1. 利用状況 (登録定員25名)

月	登録人員 (月末)	通い (定員15名)	泊まり (定員8名)	訪問 (実人数)	一日平均 通い人数	一日平均 泊り人数	平均 要介護度
4	25	395	215	59	13.2	7.2	2.2
5	25	396	219	27	12.8	7.1	2.0
6	24	383	205	21	12.8	6.8	2.2
7	24	397	214	19	12.8	6.9	2.1
8	24	396	216	19	12.8	7.0	2.1
9	24	376	202	17	12.5	6.7	2.1
10	24	387	206	15	12.5	6.6	2.1
11	23	367	202	13	12.2	6.7	2.2
12	23	368	206	17	11.9	6.6	2.3
1	22	351	186	21	11.3	6.0	2.0
2	22	345	180	14	12.3	6.4	2.0
3	22	372	215	13	12.0	6.9	2.0
合計	282	4,533	2,466	255	12.4	6.7	2.1

2. 要介護度状況 (平成27年3月度)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
1		8	5	6	2		22

3. 利用者の状況 (平成27年3月度)

独居世帯	高齢者世帯	家族と同居世帯	合計
2	4	16	22

実施状況	<p>1. ここ数年、欠員が出て待機者の確保にて速やかに新たな利用者を補充することができたが、現在は長期滞在希望の方の待機者はいても通いをニーズとした希望者がいないため下半期より欠員状態が続いている。</p> <p>2. 要介護度の重度者は、泊まりの予約が増えるが、反面、急な入退院を繰り返す利用となり入所系の異動も早い。最近は軽度からの受け入れを行い徐々に重度化の進行に沿いながら対応している。</p> <p>3. 1月と2月はインフルエンザが流行し、稼働率が下がった。</p> <p>4. 要介護度が低くても認知症の利用者が9割を占めている。寄り添うケアにて情緒の安定化を図り行動障害が減ってきている。</p>
------	---

平成26年度 特別養護老人ホーム みどりの丘・大月

平成27年 3月31日現在

1. 入所者年齢別状況（入所29名）

年齢	男性	女性	合計
100歳以上	0	1	1
90歳～99歳	2	14	16
80歳～89歳	2	7	9
70歳～79歳	1	1	2
60歳～69歳	0	0	0
60歳以下	1	0	1
合計	6	23	29

	男性	女性
最高年齢	94歳	100歳
最低年齢	56歳	74歳
平均年齢	82歳	91歳
全体平均	88.9歳	

2. 要介護度状況

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	2	0	2	2	6
女性	0	1	7	9	6	23
平均	3.8					

3. 入所状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
女	入所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	5
	退所	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	4

4. 入所理由

独居困難	心身悪化	介護者疾病	その他
2	3	1	0

5. 退所理由

死亡	在宅復帰	契約解除	その他
5	0	0	1

6. ADL

食事			排泄			入浴			移動		
自立	一部介助	全部介助									
9	14	6	2	19	8	1	20	8	2	11	16

実施状況	<p>1. 平均要介護度は3.8（昨年度は3.7）で、昨年度に比べて高くなってきている。高齢化率は進行しており、日常の生活支援での介護負担も高くなってきている。</p> <p>2. 高齢化率の進行に伴い、平成26年度は12名の入退居があった。また、入居者様の高齢化に伴い、ターミナルケア対応の入居者様も増加している。</p>
------	--

平成26年度 特別養護老人ホーム みどりの丘・大月
(短期入所生活介護)

平成27年 3月31日現在

1. 月別利用実施状況 (定員10名)

月	人数				日数				1日平均 利用者人数
	介護給付	予防給付	自立	合計	介護給付	予防給付	自立	合計	
4	25	1	0	26	283	5	0	288	9.4
5	22	1	0	23	297	8	0	305	9.5
6	25	1	0	26	285	10	0	295	9.8
7	21	3	0	24	265	12	0	277	8.9
8	21	4	1	26	268	18	1	287	9.2
9	23	2	1	26	277	9	4	290	9.6
10	21	3	0	24	280	15	0	295	9.5
11	23	1	0	24	275	6	0	281	9.3
12	21	2	0	23	274	10	0	284	9.1
1	23	3	0	26	245	31	0	276	8.9
2	26	2	0	28	228	19	0	247	8.8
3	24	2	0	26	266	24	0	290	9.3
合計	275	25	2	302	3,243	167	5	3,415	9.3

*人数の内訳の介護保険とは、介護保険法の対象者（要介護認定者）
介護予防とは、介護保険法の非該当（要支援認定者）

2. 要介護度状況 (平成27年3月度)

項目	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数	0	2	44	8	6	3	3	64
全体平均(要支援を除く)	2.7							

実施状況	<p>1. 1月と2月はショートステイのキャンセルが多く、稼働率が9割を下回る結果となってしまったが、最終的には9割を維持することができた。</p> <p>2. 平均要介護度は2.7（昨年度は3.3）であるが、認知症の利用者様も多く、周辺症状への対応が大変な日も見られている。</p>
------	--

平成26年度 地域包括支援センター事業報告

平成27年 3月31日現在

1. 月別給付管理状況

月	直営予防給付管理	委託予防給付管理	合計
4	104	191	295
5	102	192	294
6	109	195	304
7	103	208	311
8	106	200	306
9	106	200	306
10	102	202	304
11	105	199	304
12	106	206	312
1	107	203	310
2	105	212	317
3	105	225	330
合計	1,260	2,433	3,693
平均	105	202.8	307.8

2. 相談方法

区分	電話	訪問	来所
件数	369	70	89

3. 相談内容

区分	介護保険・福祉サービスに関する事	権利擁護(成年後見人制度)に関する事	高齢者虐待に関する事
件数	513	14	1

実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合相談業務：高齢者の介護予防・健康増進などの相談。北中・三中地区の介護予防事業対象者・一人暮らし高齢者の訪問。 2. 介護予防マネジメント：介護予防講座開催。介護予防教室の開催。 3. 権利擁護業務：成年後見制度促進、消費者被害防止。虐待への対応。 4. 地域のケア体制づくり、見守りネットワーク支援：地域ケア会議開催。高齢者支援連携協力会議を民生委員・地区社協・医師・歯科医師と開催。 5. 認知症地域支援推進事業：認知症医療疾患センターとの連携。認知症サポーター養成講座開催。認知症サポーターの会運営。介護者家族の会開催。
------	---

平成26年度 シルバーハウジングLSA派遣事業報告

平成27年 3月31日現在

1. 入居世帯

単身世帯	夫婦世帯	親子世帯	合 計
27	1	1	29

2. 性別状況

男	女	合 計
8	23	31

3. 年 齢

最 高 年 齢	最 低 年 齢	平 均 年 齢
92	62	77.9

4. 入居期間

入 居 期 間	合 計
5年以上 ~	22
4年以上 ~ 5年未満	2
3年以上 ~ 4年未満	1
2年以上 ~ 3年未満	2
1年以上 ~ 2年未満	0
1年未満	4
合 計	31

5. 緊急通報

月	火 災	ガ ス	水 道	緊急通報	誤 報	合 計
4			5			5
5			2		3	5
6			3		1	4
7			2			2
8					1	1
9						0
10			1			1
11			2			2
12			1	1		2
1			1			1
2			2		1	3
3						0
合 計			19	1	6	26

実施状況	1. 高齢に伴う要介護状態（要介護度認定者6名、介護予防支援者3名）になられる方も多くなり、在宅サービス利用者が増えている。 2. 緊急通報の他に、本人からの電話やヘルパーからの通報、救急車要請回数が増加傾向にある。
------	---

*Ryogai Fukusikai
Seimeien*